



小論文

時間 120分

————— 注 意 事 項 —————

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. この問題冊子は8ページである。印刷不鮮明の箇所などがある場合には、監督者に申し出ること。
3. 解答用紙の指定欄に必ず受験番号を記入すること。
4. 解答はすべて別紙の解答用紙に横書きで記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

<資料>は、児玉真美『殺す親 殺させられる親』(生活書院、2019年)の一部である。資料を読んで、次の設問に答えなさい。

(1) 下線部①「そこにある人間観」とはどのような人間観か。説明しなさい。

(1行20字詰め、10行以内)

(2) 下線部②「それが「意思」として言葉で表現されるや、一定の状態にある人ではこんなにも簡単に実現されてしまう」とはどういうことか。資料の具体例に即して説明しなさい。

(1行20字詰め、20行以内)

(3) 下線部③「そういうこと」とはどういうことか。筆者の考えをまとめたうえで、それに対するあなたの考えを述べなさい。

(1行20字詰め、30行以内)

(注意)

解答にあたっては、解答用紙の1マスに1字を使い、句読点、引用符、括弧などはいずれも1字として扱うこと。ただし、算用数字およびアルファベットは1マス2字とする。書き出しおよび行を改めたときには、1マス空けること。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

令和3年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

行政政策学類 一般選抜 後期日程

本問は、児玉真美『殺す親 殺させられる親』（生活書院、2019年）の一部を資料として用い、その趣旨を説明することおよび、それを踏まえて自身の見解を述べることを通して、文章の趣旨を正確に把握する理解力および、資料について自身で考察し、その考えを文章に示す思考力・表現力を問うものである。

同資料は、終末期の患者や重度障害者の生と死をめぐる欧米の実例や筆者自身の経験を基に、人の「意思」や人が「関係性を生きる」ことについて論じるものであり、今日の社会の優生思想や功利主義に関する議論を想起させるものである。その点で、本問は、日頃から社会や地域の様々な事象に対して、その背景にある社会の風潮をも踏まえて当事者意識を持って向き合い、自分なりの考えを持つ努力をしてきたかが問われる内容となっている。

設問(1)では、筆者が違和感を抱いている人間観の内容を的確に要約させることを意図している。(2)では、資料が取り上げた「マーガレット・バットインの夫」の事例についての的確に把握し、その趣旨を正確に論述させることを意図している。(3)では、筆者の主張を的確に理解し、下線部について正確に説明させることおよび、それを踏まえて自身で考察し、その考えを論理的かつ説得的に文章で記述させることを意図している。